統一地方選挙

浅見町長が無投票五選
横越町初の女性議員誕生

4年に一度の最も身近な横越町長選挙並び町議会議員選挙が4月25日執行されました。

町長選挙では、現町長の浅見良一氏が無投票で五選を果たしました。

一方、町議会議員選挙では、定数18人のところ20人が立候補。少数激戦の選挙となり、現職13人、新人5人が当選。そのうち横越町議会史上初めての女性議員が誕生しました。

また、投票率は前回平成7年の村議会議員選挙を約2・6ポイント下回る80・30%となりました。

投開票結果は次のとおりです。

○選挙当日有権者数　8、202人
○投票総数　6、586票
うち有効　6、528票
うち無効　58票
○投票率　80・30%

町議会議員選挙得票数

当選	串田　修平	(無所属	新)	638	票
当選	森　裕子	(無所属	新)	435	票
当選	長谷部松雄	(無所属	現)	425	票
当選	田村　清一	(無所属	新)	420.660	票
当選	金川　壽樹	(無所属	現)	362	票
当選	熊木　惣衛	(無所属	現)	357	票
当選	市村　郁夫	(無所属	現)	346	票
当選	田村　唯次	(無所属	現)	339.339	票
当選	神田　勝郎	(無所属	現)	333	票
当選	阿達　信二	(無所属	現)	321	票
当選	佐藤　正明	(無所属	現)	304.513	票
当選	高橋　寅治	(無所属	現)	294.375	票
当選	佐藤　三次	(無所属	現)	288.486	票
当選	遠藤　正文	(無所属	新)	275	票
当選	清野　稔	(無所属	現)	261	票
当選	高橋喜代一	(無所属	現)	244.312	票
当選	高橋　幸隆	(無所属	新)	244.312	票
当選	田中　田一	(無所属	現)	227	票
次点	木下　貞江	(無所属	新)	222	票
	大森　勉治	(無所属	現)	190	票

県議会議員選挙結果（横越町選挙管理委員会）

統一地方選挙の前半戦として行われた4月11日の県議会議員選挙、中蒲原郡選挙区において、塚野弘氏と梁取隆氏が当選しましたが、横越町においての選挙結果は次の通りでした。

○選挙当日有権者数　8、188人
○投票総数　5、347票
うち有効　5、251票
うち無効　96票
○投票率　65・30%
○各候補者の得票数
武田貞彦　1、375票
梁取隆　1、730票
塚野弘　839票
佐藤善右衛門　42・5票
佐藤純　1、264・5票

就任のご挨拶

みんなで創る「緑豊かないきいきとした町よこごし」の実現を目指し

横越町長　浅見良一

この度、町民の多くの方々からご推薦を賜わり町長選挙に立候補いたしましたところ、無投票当選という栄に俗し、引続き五期目の町政を担当することになりました。平成8年11月の町制施行後、初の町長選挙であり、身の引き締まる思いであります。

町政を担当するに当たりましては、初心に還り、清潔、明朗、誠実を旨とする町民本位の開かれた町政を目指して一層努力する所存であります。

長期化する景気の停滞は、企業の倒産、リストラ、雇用の喪失をもたらし、国、地方の行財政運営に極めて深刻な影響を及ぼしております。当町においても税収入の落ち込みは顕著であり、財政構造の硬直化を懸念いたしているところでありますが、お蔭様をもちまして、全町の下水道化等生活環境整備をはじめとして、社会教育施設や道水路整備も進み、町制施行後の町づくりも順調に推移いたしていることろであります。

さて、二十一世紀を展望した町づくりでありますが、昨年よりスタートした「第四次総合計画」に則り、みんなで創る「緑豊かないきいきとした町よこごし」を基調に、政策課題を的確に把握し、施策の適切な選択や重点化に考慮し、町民のみなさまの理解と協力を得ながら、メリハリの効いた施策を積極的に展開していく考えであります。

重点課題としての取り組み

①地方分権社会の構築と情報公開制度に基づく公正、公平、開かれた町政の実現
②特性を生かした農工商と観光産業の振興
③ゴミ処理対策等、公害のない環境整備
④介護保険の適正運用、保健、医療、福祉の向上で健やかで豊かな暮らしの実現
⑤教育、文化、スポーツの振興と情操教育による青少年の健全育成

平成11年度 特別会計予算

4月号で一般会計予算をお知らせしましたが、町の予算は一般会計のほか特別会計として国民健康保険等5事業会計から成っています。

これらの特別会計についてそれぞれお知らせします。

5特別会計の予算規模

（）内は前年度比

■国民健康保険特別会計
5億5,617万円（15.0%減）
■老人保健特別会計
10億1,400万円（13.8%増）
■水道事業会計（支出）
2億8,380万円（28.7%増）
■下水道事業特別会計
8億3,100万円（2.6%増）
■家畜診療所特別会計
1,672万円（7.9%増）

国民健康保険

国民健康保険とは、職場の健康保険などに加入していない人が加入する保険で、病気をしたときに経済的な心配がなく、安心して医療が受けられる制度です。この制度を支えているのがみなさんの納める保険税で、医療費にあてる大切な財源となっています。

国民健康保険特別会計予算は、対前年比15・0%減の5億5、617万円になりました。

今年度の町内の国保加入者は3、035人（うち退職者被保険者336人）と見込んでいますが、近年加入者の高齢化が進む中、医療技術の高度化に伴う医療費の増加などから、国保の運営は年々厳しさを増しています。

医療費の節減のためには病気の早期発見、早期治療が欠かせません。そのため国保では、人間ドックの経費を助成していますのでご利用ください。

医療費の適正化と保険税収納率の向上を図り、加入者の健康保持と国保財政の健全化のためにご理解とご協力をお願いします。

老人保健

老人保健特別会計予算は、対前年比13・8%増の10億1、400万円になりました。

今年度の対象者は1、386人（年間平均）が見込まれ、一人当たりの医療費は年間73万円にもなります。

老人保健会計は、医療保険の拠出金（皆さんが払っている保険料から）と国及び県の負担金、町からの繰入金（税金から）で運営されています。

対象者が増加しているため、全体の医療費の増嵩は仕方のないことですが、病気の早期発見、早期治療により一人当たりの医療費が少なく済むように、みなさんのご協力をお願いします。

水道事業

水道事業会計予算は、対前年比28・7%増の2億8、380万円となりました。これは小杉地区下水道工事に伴う配水管布設工事が多くなったためです。

今年度の水需要は、対前年比2・4%減の143・4万㎥と見込んでいます。これは、下水道の普及や住宅の増加により一般家庭用はある程度増量は見込まれますが、昨年同様、工場用、営業用の増量は期待できない状況にあります。

しかし、水の安全かつ安定した供給を図るため、浄水場（新潟市と共同施設）の適正な運営管理を図ると共に老朽化した石綿管の布設替えや配水管の改良に努めます。

下水道事業

今年度の横越町の下水道事業会計予算は、下水道工事費に3億6、600万円、設計委託や補償に4、800万円を計上して、小杉地区を主体に工事を進めます。

すでに整備が済んでいる地区に投資した借入金の返済に2億7、000万円、その他維持管理費に2、200万円等で、合計で8億3、100万円で、今年度の下水道事業を行っています。

横越町は、あと2～3年で全町下水道が完備されますので、今年度は特に水洗化の普及促進を図るとともに、中継ポンプ場、マンホールポンプ場、汚水管渠の定期点検や清掃等を行って適切な維持管理を行います。

家畜診療所

家畜診療所特別会計予算は、対前年比7・9%増の1、672万円となりました。

運営に関しましては、新潟中央農業共済組合、亀田郷みなみ農協、横越町酪農組合及び町からの負担金と診療収入により賄われています。

町の畜産は、酪農と養豚ですが、酪農に関しては、過去20年間町内での飼育頭数が安定しており、農業の中でも基幹的役割を担っています。

診療所では、これら家畜の病気発生の低減や飼養管理等、畜産振興に努めるとともに、関係する機関、団体等とより一層の連携を強化していきます。